



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 日本ナレッジ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5252 URL <https://www.know-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 青木 一男 TEL 03-3845-4781
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,314	—	△31	—	△20	—	△34	—
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △34百万円 (-%) 2025年3月期第3四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△8.31	—
2025年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2026年3月期第3四半期及び2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
2. 2026年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。
3. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,204	1,087	49.3
2025年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,087百万円 2025年3月期 一百万円

(注) 2026年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期及び2026年3月期第2四半期末の配当金については、当該株式分割前の実際の金額を記載しており、2026年3月期期末の配当金予想については、当該株式分割後の金額を記載しております。
3. 2026年3月期における1株当たり期末配当金については、株式分割後7円から10円に変更しております。詳細については、2025年9月10日公表しました「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」及び2025年10月1日公表しました「配当予想の修正（創業40周年記念配当）及び記念株主優待実施に関するお知らせ」をご覧ください。
2026年3月期 期末配当金（予想）の内訳 普通配当金7円 記念配当金3円（40周年記念配当）

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,690	—	92	—	105	—	70	—	16.90

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 2026年3月期第3四半期決算より連結決算に移行しております。詳細は、本日公表の「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。
 3. 2025年3月期は連結決算を行っていないため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社アルテックス、除外 1社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	4,151,100株	2025年3月期	4,128,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	204株	2025年3月期	135株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	4,139,360株	2025年3月期3Q	4,127,865株

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(企業結合等関係)	8

1. 経営成績等の概況

当社グループは、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果により、景気は緩やかに回復しています。当社グループが属するIT関連業界においては、引き続き企業のIT投資が拡大傾向にあると共に、IoTやAIなどのDXに関連する投資が増加しており、今後も堅調に推移すると認識しております。こうした事業環境の中、当社グループにおいては、他社と差別化するための独自性のあるサービス提供に向けた積極的な取り組みや、新たな市場の開拓にも注力し、企業価値の向上に努めてまいりました。一方で中長期の視点に立った人材投資政策として、新諏訪センターの開設、積極的な人材確保及び社員の待遇向上を目的とした賃金・手当の向上に取り組んだ結果、人件費等が増加致しました。また、株式会社アルテックスの株式取得に伴う取得関連費用やのれん資産の償却を計上しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,314,378千円、営業損失31,936千円、経常損失20,669千円、親会社株主に帰属する四半期純損失34,410千円となりました。

各セグメントの経営成績につきましては、次のとおりであります。

①検証事業

当社グループの検証事業では、システム開発の各工程において、テストの計画立案からテスト設計・実行、そしてプロセス改善提案に至るまで、ソフトウェア品質向上のためのサービスを提供しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、同業他社との差別化を図るため、継続してテストの自動化を推進したことで、複数の顧客のテスト自動化を受託し、実績をあげることができました。一方で今後の事業拡大に備え、積極的な人材確保と丁寧な育成を図ったことから人件費等が増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,990,859千円、セグメント利益247,821千円となりました。

②開発事業

当社グループの開発事業では、自社開発パッケージ製品の販売及びカスタマイズ、受託システム開発、セキュリティ関連製品の販売が主な事業内容となっております。自社開発パッケージ製品の販売及びカスタマイズ、受託システム開発においては、従前より株式会社大塚商会のERP「SMILEシリーズ」の開発及びカスタマイズを中心に行っております。特に鋼材業・木材業向けに「SMILEシリーズ」で機能する業種テンプレートを自社開発し、これらの販売・サポートについても、パートナー企業との連携を強化し、展開してまいりました。また、当社の受託した案件の中で、株式会社アルテックスが一部開発を担うなど、それぞれの強みを生かした連携強化を図り、新たな事業機会を創出しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,323,519千円、セグメント利益は212,791千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,204,294千円となりました。

流動資産は1,402,132千円となり、主な内訳は、現金及び預金626,685千円、売掛金及び契約資産698,671千円であります。固定資産は802,161千円となり、主な内訳は、有形固定資産532,474千円、投資その他の資産190,287千円であります。また、株式会社アルテックスの子会社化に伴い、のれんを計上しております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,116,829千円となりました。

流動負債は783,966千円となり、主な内訳は、買掛金254,225千円、1年内返済予定の長期借入金74,240千円、賞与引当金61,070千円であります。固定負債は332,862千円となり、主な内訳は、長期借入金298,520千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,087,464千円となりました。

主な内訳は、資本金222,158千円、資本剰余金163,398千円、利益剰余金698,487千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年3月期第3四半期決算より連結決算に移行しております。詳細は、本日公表の「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	626,685
売掛金及び契約資産	698,671
仕掛品	11,781
その他	64,995
流動資産合計	1,402,132
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	347,836
その他(純額)	184,638
有形固定資産合計	532,474
無形固定資産	
のれん	71,546
その他	7,852
無形固定資産合計	79,398
投資その他の資産	
投資有価証券	40,068
出資金	16,510
繰延税金資産	31,863
その他	101,845
投資その他の資産合計	190,287
固定資産合計	802,161
資産合計	2,204,294
負債の部	
流動負債	
買掛金	254,225
短期借入金	50,000
1年内返済予定の長期借入金	74,240
未払法人税等	18,974
賞与引当金	61,070
その他	325,455
流動負債合計	783,966
固定負債	
長期借入金	298,520
資産除去債務	21,243
その他	13,098
固定負債合計	332,862
負債合計	1,116,829
純資産の部	
株主資本	
資本金	222,158
資本剰余金	163,398
利益剰余金	698,487
自己株式	△106
株主資本合計	1,083,939
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	3,525
その他の包括利益累計額合計	3,525
純資産合計	1,087,464
負債純資産合計	2,204,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
売上高	3,314,378
売上原価	2,853,765
売上総利益	460,613
販売費及び一般管理費	492,550
営業損失(△)	△31,936
営業外収益	
受取利息	643
受取配当金	1,339
助成金収入	9,192
その他	3,853
営業外収益合計	15,029
営業外費用	
支払利息	3,578
社債利息	5
その他	178
営業外費用合計	3,762
経常損失(△)	△20,669
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,669
法人税、住民税及び事業税	2,247
法人税等調整額	11,493
法人税等合計	13,740
四半期純損失(△)	△34,410
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,410

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△34,410
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	104
その他の包括利益合計	104
四半期包括利益	△34,306
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,306
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,990,859	1,323,519	3,314,378	—	3,314,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	△44,873	44,873	—	—	—
計	1,945,985	1,368,392	3,314,378	—	3,314,378
セグメント利益	247,821	212,791	460,613	△492,550	△31,936

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△492,550千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用492,550千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社アルテックスの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「開発事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は71,546千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
減価償却費	32,642千円
のれんの償却額	3,765千円

(企業結合等関係)

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社アルテックス

事業の内容：コンピュータのソフトウェアの開発

②企業結合を行った主な理由

当社は、ソフトウェアシステムの検証サービスを提供する「検証事業」と、システム受託開発、業務系パッケージソフトウェアの開発・販売等を行う「開発事業」を主たる事業として展開しておりますが、高品質かつ独自性のあるサービスの提供に注力することで企業価値の向上に努めてまいりました。

昨今の市場の品質ニーズの高まりに対応して、顧客企業における高品質なソフトウェア開発を総合的に支援することが重要であると考え、ソフトウェア開発プロセス支援、品質改善コンサルティング、保守・運用支援など、テスト工程だけではなくシステムのライフサイクル全体に対するソリューションサービスの提供も開始しております。一方で、高品質を支える優れたエンジニアを確保するべく、中長期の視点に立った人材投資戦略の一環として、2024年9月に長野県下諏訪町に新諏訪センターを開設し、地方人材の採用にも積極的に取り組んでまいりました。

アルテックス社は、長野県松本市を拠点に、Web関連ソフトウェアの開発事業を展開しており、大きく3点の強みを有しております。

- ・生産・工程管理から販売・在庫管理に至る多様なシステムについて、上流から下流までを一気通貫に開発できる体制を有している。
- ・製造業から運輸・通信業まで幅広い業種の顧客に寄り添った、オーダーメイドによるシステム開発の実績がある
- ・長野県を中心に、優良な顧客基盤を有する

以上の強みを持つアルテックス社を子会社とすることで、当社の対応領域の拡大を実現し、従来獲得が難しかった系列の顧客群や参入が難しかった領域のシステムへのサービス提供が可能となることを期待しております。

また、アルテックス社の「組織は人なり」「社員一人ひとりが主役」をキーワードとするエンジニアの個性を尊重する社風は、当社の企業文化との親和性が非常に高く、人的交流と軸とした高いシナジーが期待されるものと考えております。

以上のような背景から、当社は、更なる発展を目指して共に歩み続けることができるパートナーとしてアルテックス社を迎え入れるべく、本株式取得を実施することといたしました。これからも、ソフトウェア品質の向上を通じて、安心できるデジタル社会の未来を支えるべく、企業価値の向上に努めてまいります。

③企業結合日

2025年10月1日（株式取得日）

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	130,000千円
取得原価		130,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 5,375千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれんの金額

75,312千円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

③償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却